

4 企業会計収入支出予算の概要

企業会計は、地方公営企業法に定められた諸事業と採算性のある事業について、条例の定めるところにより設置するものですが、本県では、公共の福祉を増進するため、病院、水道、工業用水道および電気の4事業の経営を行っています。

本年度の企業会計予算の総額は、第15表のとおり、646億1,720万5千円で、前年度の649億3,322万5千円に比べ、3億1,602万円、0.5%の減となっています。

第15表 企業会計予算の状況

(単位：千円、%)

会 計 名	平成16年度 当初予算額 (A)	平成15年度 当初予算額 (B)	比 較	
			増 減 (A) — (B)	伸 び 率 (A) — (B) / (B)
病 院 事 業	21,925,833	23,019,087	△1,093,254	△4.7
水 道 事 業	24,851,528	25,773,267	△921,739	△3.6
工業用水道事業	13,032,479	11,575,764	1,456,715	12.6
電 気 事 業	4,807,365	4,565,107	242,258	5.3
合 計	64,617,205	64,933,225	△316,020	△0.5

企業会計収入支出予算について、その概要を説明します。

(1) 病院事業会計

平成16年度から18年度までの3ヶ年の県立病院のビジョンと経営方針及び具体的な行動に向けた取組を示す「三重県病院事業中期経営計画」を着実に実践することにより、県立病院としての役割・機能を果たし、県民から求められる良質な医療を継続的に安定供給できるように努めます。

このため、平成14年度から導入した機能の健全化・収支の健全化・自立の健全化が着実に達成できる新しいマネジメントシステム（バランス・スコアカード）の定着を図り、経営方針の徹底、全職員参画型の経営を推進します。

ア. 業務の予定量

(ア) 病床数 1,286床

(イ) 患者数

	年 間	1日平均
入院患者数	431,613人	1,183人
外来患者数	490,031人	2,016人

イ. 収益的収支 収入 19,595,489千円 資本的収支 収入 1,366,565千円
支出 19,303,043千円 支出 2,622,790千円

平成16年度の主要事業としましては、総合医療センターにおける女性専門医療相談の開設、こころの医療センターにおける精神科救急システムへの参画や保護室の増室、一志病院における緩

和ケア実践準備の取組及び志摩病院外来棟整備を行います。

収益的収入は、入院収益、外来収益などの医業収益164億4,706万5千円、他会計補助金、負担金などの医業外収益31億4,842万4千円です。

一方、収益的支出は、職員給与費100億4,900万4千円、薬品費などの材料費37億4,032万6千円、事業運営経費27億778万9千円、設・器械備品などの減価償却費16億517万2千円等の医業費用182億1,188万2千円、払利息などの医業外費用10億9,116万1千円です。以上の結果、収支差引で、2億9,244万6千円の当期純利益を計上しております。

次に、資本的収入は、県費負担金7億8,556万5千円、企業債5億8,100万円です。

一方、資本的支出は、志摩病院外来棟整備のための調査委託費、各病院の空調設備等改修のための病院増改築工事費で3億5,210万8千円、各病院の医療機器購入など資産購入費5億2,126万4千円、企業債償還金11億4,895万5千円、長期借入金償還金5億円及び投資有価証券購入費1億円です。

(2) 水道事業会計

水道事業は、津市及び久居市を含む2市7町1村を対象とした北中勢水道（中勢系：施設能力1日最大給水量140,216m³）、四日市市、桑名市及び鈴鹿市を含む3市6町を対象とした北中勢水道（北勢系：施設能力1日最大給水量137,700m³）、伊勢市、松阪市及び鳥羽市を含む3市12町1村を対象とした南勢志摩水道（施設能力1日最大給水量169,150m³）による給水を行い、上水の安定した供給に努めています。

また、北勢地域の水需要に対応するため、長良川河口堰を水源とした北勢広域水道拡張事業を、また、伊賀地域の水需要の伸びに対応するため、川上ダムを水源とした伊賀広域水道建設事業をそれぞれ実施します。

ア. 業務の予定量

年間総給水量 75,281,990m³

1日平均給水量 206,252m³

イ. 収益的収支	収入	13,201,849千円	資本的収支	収入	5,116,789千円
	支出	11,976,030千円		支出	12,875,498千円

収益的収入は、給水収益123億3,734万円とその他営業収益を合わせた営業収益123億4,297万円及び一般会計補助金7億1,785万2千円等の営業外収益8億5,887万9千円です。

収益的支出は、人件費、修繕費、減価償却費等の営業費用83億5,030万8千円と支払利息等の営業外費用36億2,372万2千円が主なものです。以上の結果、収支差引12億2,581万9千円の利益を計上しました。

次に、資本的収入は、北勢広域水道拡張事業等に充当する企業債21億8,100万円や一般会計出資金21億7,056万9千円及び国庫補助金3億3,000万円が主なものです。

資本的支出は、北勢広域水道拡張事業等の建設改良費32億1,797万3千円と企業債等の償還金96

億5,752万5千円です。

ウ. 主な建設改良計画

建設改良事業としては、既設の北勢水道の改良事業のほか、北勢広域水道拡張事業、伊賀広域水道建設事業を実施することとしています。

主な建設改良事業

(単位：千円)

事業名	計画年度	総事業費	うち本年度 事業費	備考
業務設備改良工事	H16	1,161,496	1,161,496	既設水道事業の設備改良
北勢水道改良事業	H16	39,076	39,076	既設施設の改良
北勢広域水道拡張事業	H10～22	36,100,000	432,572	目標日量47,600m ³
伊賀広域水道建設事業	H10～20	27,927,000	1,167,022	目標日量28,750m ³

③ 工業用水道事業会計

工業用水道事業は、北伊勢工業用水道（1日給水能力830,000m³）、中伊勢工業用水道（1日給水能力33,000m³）、松阪工業用水道（1日給水能力38,500m³）及び多度工業用水道（1日給水能力10,000m³）により、工業用水の供給をしています。

また、県下の工場に良質な工業用水を安定的に供給するため、的確な水処理や配水運用を行うとともに、北伊勢工業用水道事業等の既存施設の計画的な改良工事を実施します。

ア. 業務の予定量

- (ア) 給水会社数 87社
- (イ) 年間総給水量 232,377,170m³
- 1日平均給水量 636,649m³

イ. 収益的収支 収入 6,862,762千円 資本的収支 収入 3,301,612千円
支出 6,252,197千円 支出 6,780,282千円

収益的収入は、給水収益62億9,840万5千円とその他営業収益を合わせた営業収益68億5,928万6千円及び受取利息等の営業外収益347万6千円です。

収益的支出は、人件費、修繕費、減価償却費等の営業費用52億1,632万6千円と支払利息等の営業外費用10億3,387万1千円が主なものです。以上の結果、収支差引6億1,056万5千円の利益を計上しました。

次に資本的収入は、北伊勢工業用水道改良事業等に充当する企業債12億1,100万円や国庫補助金3億2,400万円及び一般会計出資金16億6,261万2千円が主なものです。

資本的支出は、北伊勢工業用水道改良事業等の建設改良費27億4,668万4千円と企業債等の償還金40億3,359万8千円です。

ウ. 主な建設改良計画

建設改良事業としては、既設の北伊勢工業用水道改良事業等を実施することとしています。

主な建設改良事業

(単位：千円)

事業名	計画年度	総事業費	うち本年度 事業費	備考
業務設備改良工事	H16	198,662	198,662	既設工業用水道事業の設備改良
北伊勢工業用水道改良事業	H16	1,639,271	1,639,271	既設工業用水道の改良

(4) 電気事業会計

電気事業は、宮川第1、第2、第3、長、三瀬谷、青蓮寺、大和谷、蓮、青田及び比奈知の10発電所において発電を行っています。また、未利用の廃棄物エネルギーの高効率なサーマルリサイクルを実現するためのモデル事業として、多度町に「三重県ごみ固形燃料発電所」を建設し平成14年12月から稼働しましたが、昨年8月にRDF貯蔵槽の爆発事故が発生したことにより、現在は貯蔵施設がない状態での制限的な稼働となっています。

ア. 業務の予定量

年間販売電力量 346,893,485kWh

イ. 収益的収支	収入	3,516,927千円	資本的収支	収入	190,098千円
	支出	3,429,275千円		支出	1,378,090千円

収益的収入は、電力料29億1,927万9千円等の営業収益29億2,219万8千円、RDF焼却・発電事業の附帯事業収益5億7,914万8千円及び受取利息等の営業外収益1,558万1千円です。

収益的支出は、人件費、修繕費、減価償却費等の営業費用21億7,450万1千円、RDF焼却・発電事業の附帯事業費用7億9,403万円及び支払利息等の営業外費用4億5,874万4千円が主なものです。以上の結果、収支差引8,765万2千円の利益を計上しました。

次に、資本的収入は、宮川ダム維持放流設備建設事業等に充当する国庫補助金9,259万2千円と長期貸付金償還金9,750万6千円です。

資本的支出は、三瀬谷発電所改良事業等の建設改良費7億9,801万5千円、企業債の償還金5億8,007万5千円です。

ウ. 主な建設改良計画

建設改良事業としては、既設の設備改良事業のほか、宮川ダム維持放流設備建設事業及び川上発電所建設事業を実施することとしています。

主な建設改良事業

(単位：千円)

事業名	計画年度	総事業費	うち本年度事業費	備考
三瀬谷発電所改良事業	H16	434,711	434,711	既設発電所の設備改良
官川ダム維持放流設備建設事業	H16	319,699	319,699	最大出力約220kW
川上発電所建設事業	H11～16	1,678,000	7,669	最大出力約1,200kW

一口メモ

- 収益的収支…当該年度の企業の経営活動に伴い発生する収益（収入）とそれに対応する費用（支出）であって、収入は、サービスの提供の対価としての料金収入が主体であって、支出にはサービス提供に要する職員給与費、支払利息、建物等の固定資産の減価償却費等が計上されます。
- 資本的収支…住民に対するサービスの提供を維持するとともに、将来の利用増に対処して、経営規模の拡大を図るために要する諸施設の整備、拡充等の資産の取得に要する経費、施設の取得に要した企業債の元金償還金などの支出と資産の取得に要する企業債等の収入が計上されます。